



A Spirits of Potential Power 女子サッカー一部報告 A Spirits of Potential Power

～全日本高校選手権大会関西大会3位入賞～

3年連続4回目全国大会出場決定

3位決定戦で京都精華に2-1

第21回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場を決める第21回関西高等学校女子サッカー選手権大会兼第21回全日本高等学校女子サッカー選手権大会は10月28日、11月3日、4日滋賀県希望が丘陸上競技場ほかで行われ大阪桐蔭高校は準々決勝で和歌山北高校を14-1で破りベスト4を決め3年連続4回目の全国出場を決めた。準決勝では大商学園と対戦、1-2で敗れ決勝進出はならなかった。3位決定戦では京都精華に前半終了間際にカウンターで失点したが、後半反撃しオウンゴールで追いつき、試合終了1分前に勝ち越しゴールを決めた。決勝は大商学園が日ノ本学園を破り初優勝を飾った。

◇準々決勝(10月28日、滋賀県希望が丘陸上競技場)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)
大阪桐蔭 14-1(4-1) 和歌山北高校

【得失点】1分濱本、7分失点、23分濱本、33分中山、35分、36分、38分濱本、43分呉屋、44分持田、46分濱本、53分呉屋、58分、62分中山、67分八雲、68分呉屋

◇準決勝(11月3日、滋賀県希望が丘球場)35分ハーフ

大阪桐蔭 1-2(0-1) 大商学園

【得失点】14分失点(大商吉田)、45分失点(大商田中)、55分長谷川

今季は勝ったことがない相手。開始から両者激しいぶつかり合いでお互いペースを作れなかったが前半14分大商学園は右サイドのスローインから逆サイドに大きく展開し、左サイドバック浅井が絶妙なタイミングで上がりクロスを入れた。中央で対応に遅れた大阪桐蔭守備がクリアミスし、そのこぼれ球を吉田が素晴らしいゴールを決め大商学園が先制した。後半に入り同点に追いつきたい大阪桐蔭はディフェンスを1人減らして攻撃に転じたが、中盤のつなぎにミスが出てオフサイドトラップを破られて田中に決められた。その後反撃に転じ左サイド途中交代持田のドリブル突破を大商学園がファール。得たFKから長谷川がヘディングで決め1点差に詰め寄った。残り5分になって捨て身の攻撃で大商学園ゴールに襲い掛かったが、シュートがポストに嫌われるなど惜しい場面で得点できず敗れた。

◇3位決定戦(11月4日、滋賀県希望が丘陸上競技場)35分ハーフ

大阪桐蔭 2-1(0-1) 京都精華

【得失点】35分失点、10分オウンゴール、69分岩根

何としても3位で全国に行きたい大阪

桐蔭は前半スローペースとなった。前半終了間際左サイド井口のクロスが中で合わず拾われてカウンターを受け失点、昨日に続きまたも1点を追いかける展開となった。後半井口のCKからオウンゴールを誘い同点、延長かと思われた69分に左スローインから濱本が粘り中央へ、中に入ってきた途中交代の岩根が決め勝ち越した。

大阪大会は優勝

平成24年度第67回大阪高校総合体育大会(女子の部)順位決定リーグ最終戦は10月8日履正社グラウンドで行われ大阪桐蔭高校は大商学園を1-1PK5-3で破り3年ぶり4度目の優勝を飾った。

◇予選リーグ第2節(9月2日、泉北高校)30分ハーフ

大阪桐蔭高校 16-0(8-0) 香ヶ丘リベルテ

【得失点】1分八雲、7分呉屋、18分中山、21分呉屋、22分、25分濱本、27分中山、29分、31分、32分濱本、38分長谷川、42分濱本、44分中西、47分上西、50分濱本、56分中西

◇予選リーグ第3節(9月8日、星翔高校)30分ハーフ

大阪桐蔭高校 0-0(0-0)PK3-2 星翔高校

◇決勝リーグ第1節(9月9日、大阪産業大学生駒)35分ハーフ

大阪桐蔭高校 6-0(4-0) 追手門学院高校

【得失点】9分濱本、18分八雲、25分、33分濱本、37分オウンゴール、47分長谷川

◇決勝リーグ第2節(9月22日、大阪産業大学生駒)35分ハーフ

大阪桐蔭高校 21-0(9-0) 茨木西高校

【得失点】2分濱本、5分泊、7分呉屋、13分濱本、18分呉屋、20分中山、22分濱本、27分持田、31分呉屋、39分長谷川、40分濱本、48

分岩根、49分長谷川、52分運天、53分岩根、54分、56分、57分長谷川、59分運天、63分岩根、70分長谷川

◇決勝リーグ第3節(10月8日、履正社高校)35分ハーフ

大阪桐蔭高校 1-1(1-1)PK5-3 大商学園

【得失点】31分失点(大商吉田)、34分呉屋

全日本女子関西はベスト8

第41回関西女子サッカー選手権大会兼第34回全日本女子サッカー選手権大会関西大会は9月23日から和歌山桃源郷グラウンド他で行われ、大阪桐蔭高校は1回戦海南FCシャウト(和歌山1位)を5-0で破り準々決勝に進んだが兵庫1位の姫路獨協大学に1-3で敗れベスト8で敗退した。全国大会出場を目標にしていたが、姫路獨協大学で活躍する本校卒業生吉田と大野のスピードに翻弄され前半で失点、後半守備の乱れからも失点しキャプテン泊が1点を返すにとどまった。姫路獨協大学は決勝で大阪体育大学と対戦し1-1PK9-8で破り初優勝を果たした。この2チームが全国大会に出場する。

◇2回戦(9月23日、和歌山桃源郷)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 5-0(2-0)海南シャウト(和歌山)

【得失点】5分岩根、12分呉屋、58分長谷川、68分濱本、78分呉屋

◇準々決勝(10月7日、大阪万博)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 1-3(0-1)姫路獨協大学(兵庫1位)

【得失点】9分、57分、59分失点、70分泊

親子仲良くバーベQ大会

9月16日大阪市立信太山青少年野外活動センターで保護者と生徒の交流を目的にバーベQ大会が行われた。保護者およそ50人が集まりサッカー部員との交流や出し物で盛り上がった。

体育祭に参加

10月12日なみはやドームで体育祭が行われ女子サッカーも自慢の脚力を見せつけた。翌日の中学生体育祭には補助として協力しスムーズな運営に一役買った。